

授業科目名・形態	人間の理解Ⅱ 講義	必修・選択の別	選択	
担当者氏名	脇山 園恵	開講期	1年 後期	単位数 2

【授業の主題】

介護は深い人間理解に基づいた信頼関係のうえに成り立つものである。本講は、対人援助に必要な人間の関係性を理解し、関係形成に必要なコミュニケーションの基礎的な知識について、講義と演習を通じて習得することを目的とする。人間の理解Ⅰの「人間の尊厳と自立」で学習したことを引き継ぎながら、人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義や機能を実践面から学ぶ。

【到達目標】

- 1) 関係作りのための人間について、人間の認知世界の違いから確認できる。
- 2) 人間関係の形成について、人間の発達過程から確認できる。
- 3) 人間関係を形成するために必要な心理学的支援を踏まえたコミュニケーションの意義と機能について、生活場面面接から確認できる。

【授業計画・内容】

- 第 1回 オリエンテーション
- 第 2回 関係づくりのための人間理解①（個々人の認知世界：自己覚知・他者理解）
- 第 3回 関係づくりのための人間理解②（ストレスを考える）
- 第 4回 関係づくりのための人間理解③（利用者のとらえ方：こころのメカニズム）
- 第 5回 人権関係の形成①（人間関係のさまざまな広がり）
- 第 6回 人間関係の形成②（発達と人間関係）
- 第 7回 人間関係の形成③（エコロジカルな視点からみた人間関係）
- 第 8回 人間関係の形成④（集団力学からみた人間関係）
- 第 9回 人間関係の形成⑤（介護職支援と対人関係／職場での人間関係）
- 第 10回 コミュニケーションの基礎①（コミュニケーションとは：言語的・非言語的コミュニケーション）
- 第 11回 コミュニケーションの基礎②（コミュニケーションの目的と方法）
- 第 12回 コミュニケーションの基礎③（コミュニケーションを促す環境）
- 第 13回 コミュニケーションの技法と観察①（コミュニケーション技法を知る：受容、共感、傾聴など）
- 第 14回 コミュニケーションの技法と観察②（各種コミュニケーション技法と実際）
- 第 15回 コミュニケーションの技法と観察③（コミュニケーション技法を活かす）

【授業実施方法】

基本的には講義と演習で行う。

【授業準備】

- ①受講するすべての学生は各回の授業において参照する教科書の該当ページを「授業前に一度は読んでくること」
- ②余裕のある学生は教科書の該当ページにおけるわからない語句などを「専門書や辞典などを用いて調べておくこと」

【主な関連する科目】

介護の基本Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、コミュニケーション技術Ⅰ・Ⅱ、社会福祉概論Ⅰ・Ⅱ、高齢者福祉論Ⅰ、障害者福祉論Ⅰ、日常生活支援技術演習Ⅰ、ソーシャルワーク論Ⅰ など

【教科書等】 介護福祉士養成講座編集委員会編：人間の理解（最新版）、中央法規出版、2019.

【参考文献】

- ・上田敏：ICF（国際生活機能分類）の理解と活用—一人が「生きること」「生きることの困難（障害）」をどうとらえるか、きょうされん、2006.
- ・早樫一男編：対人援助職のためのジェノグラム入門—家族理解と相談援助に役立つツールの活かし方、中央法規出版、2016. など

【成績評価方法】 平常点10%、小テスト30%、期末試験（筆記）60%で評価する。60%以上の得点を合格とする。

【学生へのメッセージ】

利用者との信頼関係構築のためにはどのような視点が必要かを良く考えながら予習・復習し、介護実践のために必要となる人間の理解を深めてください。